



3月の採用薬品（特定個人薬品）

レボカルニチンF錠250mg「トーフ」

レボカルニチン製剤

東和薬品

【効】カルニチン欠乏症

【用】通常、成人には、レボカルニチンとして、1日1.5～3gを3回に分割経口投与する。なお、患者の状態に応じて適宜増減する。

通常、小児には、レボカルニチンとして、1日体重1kgあたり25～100mgを3回に分割経口投与する。なお、患者の状態に応じて適宜増減する。

【副】添付文書参照



コララン錠2.5mg

HcNチャネル遮断薬

小野薬品工業

【効】洞調律かつ投与開始時の安静時心拍数が75回/分以上の慢性心不全ただし、β遮断薬を含む慢性心不全の標準的な治療を受けている患者に限る。

【用】通常、成人にはイブブラジンとして、1回2.5mgを1日2回食後経口投与から開始する。開始後は忍容性をみながら、目標とする安静時心拍数が維持できるように、必要に応じ、2週間以上の間隔で段階的に用量を増減する。1回投与量は2.5、5又は7.5mgのいずれかとし、いずれの投与量においても、1日2回食後経口投与とする。なお、患者の状態により適宜減量する。

【副】添付文書参照



エレンタール配合内用剤

成分栄養剤

EAファーマ

【効】【用】【副】添付文書参照



採用区分変更薬品

ノイロビタン配合錠 特定個人薬 → 削除
コクネル錠500mg 特定個人薬 → 通常採用
アイファガン点眼液0.1% 特定個人薬 → 注文薬品
コソプト配合点眼液 特定個人薬 → 注文薬品
ラタチモ配合点眼液「センジュ」 特定個人薬 → 注文薬品

3月の採用薬品（院外専用薬品）

モイゼルト軟膏1%

アトピー性皮膚炎治療剤

大塚製薬

【効】アトピー性皮膚炎

【用】通常、成人には1%製剤を1日2回、適量を患部に塗布する。通常、小児には0.3%製剤を1日2回、適量を患部に塗布する。症状に応じて、1%製剤を1日2回、適量を患部に塗布することができる。

【副】添付文書参照



10%サリチル酸ワセリン軟膏東豊

寄生性皮膚疾患剤

東豊薬品

【効】【用】【副】添付文書参照



リンデロン-Vクリーム0.12%

皮膚外用合成副腎皮質ホルモン剤

シオノギファーマ

【効】【用】【副】添付文書参照

※副腎皮質ステロイド（Strong）のクリーム剤



ダイアコートクリーム0.05%

外用合成副腎皮質ホルモン剤

東豊薬品

【効】【用】【副】添付文書参照

※副腎皮質ステロイド（Strongest）のクリーム剤



採用薬品のメーカー変更

献血アルブミン25%静注12.5g/50mL「ニチャク」 → 「タケダ」
アセトアミノフェン坐剤小児用200mg「日新」 → 「JG」

剤型変更変更

アシクロビル点滴静注用250mg「トーフ」（バイアル製剤） →
アシクロビル点滴静注液250mg「トーフ」（アンプル製剤）